

(様式第9号)

情報公開用文書

「アレルギー性気管支肺真菌症 第2回全国調査」について

1, 研究（調査）の目的と概略

「アレルギー性気管支肺真菌症」診療に関するエビデンスを蓄積し、新しいアレルギー性気管支肺真菌症診断基準の妥当性確認と難治症例の特徴・治療指針を作成することを目的とします。

2, 研究（調査）の方法

「アレルギー性気管支肺真菌症」の診断の元、入院および外来の診療を施行された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過、治療に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、日本医療研究開発機構(AMED)、東海大学医学部へ情報提供されます。研究成果は、学会への報告や論文として発表されます。

3, 研究（調査）の参加施設

日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会認定教育施設など全国 161 施設

4, 調査期間

調査期間 2014年1月1日から2019年12月31日までに診断された患者様

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、「アレルギー性気管支肺真菌症」の診断の元、入院、外来にて精査加療を施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局 研究代表者

東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 教授 浅野浩一郎

当院研究責任者

呼吸器内科 葉久貴司

お問い合わせ先

徳島県立中央病院 呼吸器内科 代表 TEL: 088-631-7151